



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アイ・エス・ビー

コード番号 9702 URL <http://www.isb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 若尾 逸雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 太田 道也

TEL 03-3490-1761

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	8,385	9.1	162	△12.6	203	1.8	91	△70.0
24年12月期第3四半期	7,688	7.6	185	—	200	—	303	—

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 166百万円 (△44.9%) 24年12月期第3四半期 302百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	22.00	—
24年12月期第3四半期	72.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	5,920	4,168	65.5
24年12月期	5,840	4,275	68.8

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 3,879百万円 24年12月期 4,016百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	20.00	20.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年12月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当5円00銭

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	13.2	360	57.9	396	47.4	247	△25.2	59.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
詳細は、添付資料3ページ「2. (2) 四半期財務諸表の作成に特有な会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 有
④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期3Q	4,521,000 株	24年12月期	4,521,000 株
25年12月期3Q	545,206 株	24年12月期	345,206 株
25年12月期3Q	4,145,025 株	24年12月期3Q	4,175,794 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年末からの円安株高基調を引き継ぎ、景気回復期待が膨らむ中スタートいたしました。その後、円安株高伸展は一服したものの、各種経済対策や金融緩和政策の継続等により、比較的安定して推移してまいりました。輸出企業を中心とした企業収益の改善など実体経済においても徐々に景気回復の兆しがうかがえ、一部の企業では労務費の引き上げを図るなど、デフレ脱却に向けての動きもみられました。今後につきましては、東京オリンピック招致成功などの好材料や消費税増税前の駆け込み需要などで持続的な景気回復が期待される一方、本格化するTPP交渉の行方や中国や東南アジア新興国の景気停滞懸念など、不透明な要因もみられ、先行きに対しては一部慎重な見方も出てきております。

当社グループが属する情報サービス産業におきましても、今年に入って金融機関や企業等の投資が回復基調を辿っており、景況感が高まってまいりました。このような中、受注状況は相応に回復してきたものの、IT投資に対するコスト意識の高まりを背景に、費用対効果の要求はより厳しいものとなってきており、高い利便性の提供やコスト削減効果等の実現が強く求められております。このような市場のニーズに適応するかたちで、クラウドコンピューティングの拡大やスマートフォン／タブレット端末普及などを背景に効果的かつ効率的なITサービスの開発とその提供が加速してまいりました。

このような環境下、当社グループは、既存主要顧客である大手電機メーカーからの受注量減少を補うべく、医療や車載などを中心とする幅広い組込みソフトウェア開発分野での受注量増加に努めました。また、中期経営計画で主要課題のひとつとしている新規顧客の獲得にも鋭意注力し、新たな受注基盤の確立に向け着実に成果を上げており、全般の業況回復と相まって、前年同期に比べ高水準の受注残高を確保しております。また、これまで収益のほとんどを占めていた受託開発業務に加え、ITサービス事業の拡大に向けた事業モデルの創出など、新規事業の仕組み作りも進めております。

これらの結果、スマートフォン等のモバイル関連分野では売上高が減少したものの、その他の分野は総じて堅調に推移し、連結売上高は前年同期を上回りました。

利益面においては、一層の経費節減等に努め、販売費及び一般管理費率は0.5ポイント改善しましたが、労務費の上昇を受けて連結売上総利益率が前年同期に比べ0.9ポイント低下いたしました。この結果、連結営業利益率は前年同期に比べ0.5ポイント低下し同利益は減益となりました。連結経常利益率は低下しましたが、営業外収益の増加等により増益となりました。連結当期純利益に関しましては、前年同期にノックスデータ株式会社を連結した際、1億43百万円の負ののれん発生益を計上したことが主に影響し、前年同期との比較では大幅な減益となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高83億85百万円（前年同期比9.1%増）、営業利益1億62百万円（前年同期比12.6%減）、経常利益2億3百万円（前年同期比1.8%増）、当期純利益91百万円（前年同期比70.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末において、資産は、59億20百万円と前連結会計年度末より79百万円増加いたしました。これは主として現金及び預金等の増加が受取手形及び売掛金、投資有価証券等の減少を上回ったことによるものであります。

負債は、17億51百万円と前連結会計年度末より1億85百万円増加いたしました。これは主として賞与引当金、支払手形及び買掛金等の増加が受注損失引当金等の減少を上回ったことによるものであります。

純資産は、41億68百万円と前連結会計年度末より1億6百万円減少いたしました。これは主として自己株式の増加等によるものであります。

なお、自己資本比率は 65.5%と3.3ポイント低下いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの第3四半期連結累計期間までの業績は、期首計画を若干下回って推移しており、先行き不透明な要因も認められますが、受注残高は前年同期を大きく上回っており、平成25年2月14日に公表いたしました期首の通期業績予想は据え置くこといたしました。今後、通期業績予想を修正する必要があると判断した場合には、直ちに業績修正開示を行ってまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、当事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、損益に与える影響額は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	855,896	1,392,699
受取手形及び売掛金	2,380,204	2,056,268
有価証券	77,550	100,420
商品	8,225	119,907
貯蔵品	—	1,446
仕掛品	283,683	384,393
前払費用	71,562	101,012
繰延税金資産	174,666	184,587
その他	41,860	47,223
貸倒引当金	△3,069	△2,512
流動資産合計	3,890,580	4,385,447
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	346,293	370,501
減価償却累計額及び減損損失累計額	△219,645	△242,784
建物及び構築物（純額）	126,647	127,716
土地	251,259	250,419
その他	146,832	230,123
減価償却累計額及び減損損失累計額	△111,765	△183,772
その他（純額）	35,066	46,350
有形固定資産合計	412,973	424,487
無形固定資産		
その他	92,302	177,330
無形固定資産合計	92,302	177,330
投資その他の資産		
投資有価証券	844,819	508,328
関係会社出資金	119,295	—
長期前払費用	2,544	4,509
差入保証金	138,063	151,964
会員権	1,100	1,100
繰延税金資産	316,201	257,705
その他	74,764	29,446
貸倒引当金	△51,671	△20,174
投資その他の資産合計	1,445,118	932,879
固定資産合計	1,950,394	1,534,696
資産合計	5,840,974	5,920,144

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	517,578	645,740
短期借入金	70,000	70,000
未払金	289,160	239,647
未払費用	14,539	51,064
未払法人税等	53,611	43,862
未払消費税等	49,245	72,982
賞与引当金	15,104	232,720
役員賞与引当金	—	720
受注損失引当金	204,773	8,520
その他	181,440	196,963
流動負債合計	1,395,453	1,562,222
固定負債		
長期未払金	11,948	8,265
退職給付引当金	11,398	22,599
役員退職慰労引当金	103,057	112,002
資産除去債務	43,956	46,502
固定負債合計	170,360	189,370
負債合計	1,565,814	1,751,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,440,600	1,440,600
資本剰余金	1,970,600	1,970,600
利益剰余金	914,583	883,676
自己株式	△304,528	△423,528
株主資本合計	4,021,254	3,871,348
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,520	37,621
為替換算調整勘定	—	△29,676
その他の包括利益累計額合計	△4,520	7,945
少数株主持分	258,426	289,258
純資産合計	4,275,160	4,168,551
負債純資産合計	5,840,974	5,920,144

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	7,688,514	8,385,883
売上原価	6,632,130	7,315,999
売上総利益	1,056,383	1,069,883
販売費及び一般管理費	870,526	907,441
営業利益	185,857	162,442
営業外収益		
受取利息	8,079	6,441
受取配当金	2,363	12,799
保険配当金	255	230
受取保険金	—	13,360
助成金収入	8,099	—
その他	10,308	10,754
営業外収益合計	29,106	43,587
営業外費用		
支払利息	4,692	973
社債償還損	5,794	—
その他	4,284	1,225
営業外費用合計	14,770	2,199
経常利益	200,193	203,829
特別利益		
固定資産売却益	—	3,271
負ののれん発生益	143,436	—
投資有価証券償還益	—	3,541
その他	2,850	757
特別利益合計	146,286	7,570
特別損失		
減損損失	9,787	—
関係会社株式評価損	26,060	—
助成金返納金	—	6,523
社葬関連費用	—	17,278
その他	7,893	4,726
特別損失合計	43,740	28,528
税金等調整前四半期純利益	302,739	182,871
法人税、住民税及び事業税	31,503	20,554
法人税等調整額	△36,860	37,747
法人税等合計	△5,357	58,301
少数株主損益調整前四半期純利益	308,096	124,570
少数株主利益	4,495	33,362
四半期純利益	303,600	91,208

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	308,096	124,570
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,973	42,142
為替換算調整勘定	—	△332
その他の包括利益合計	△5,973	41,809
四半期包括利益	302,122	166,380
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	297,626	133,018
少数株主に係る四半期包括利益	4,495	33,362

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、当第3四半期連結累計期間において、平成25年8月19日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を200,000株取得いたしました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において自己株式は119,000千円増加し、423,528千円となっております。

(5) セグメント情報等

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日）

当社グループは、情報サービス事業ならびにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日）

当社グループは、株式会社ISBパーソナルサービスおよびISB Vietnam Co., Ltdを連結範囲に含めたことに伴い、情報サービス事業ならびにこれらの付帯業務および情報加工サービスを報告セグメントとしておりますが、情報サービス事業ならびにこれらの付帯業務の割合が高く、情報開示としての重要性が乏しいため、セグメント別の記載は省略しております。